

APIGA2023参加報告

第68回ICANN報告会

2023年11月30日

株式会社日本レジストリサービス(JPRS)

堀江 彩花

目次

1. APIGAの概要
2. 参加に当たって
3. プログラム全体のイメージ
4. 特に印象に残ったプログラム
5. 実際の様子(動画)
6. 全体を通しての感想
7. さいごに

APIGAの概要

正式名称 Asia Pacific Internet Governance Academy

主催 ICANN
KISA(Korea Internet & Security Agency)

対象 アジア太平洋地域の若者(18歳～35歳)

目的 参加者が、インターネットとそのエコシステムに対する理解を深め、インターネットにおける政策決定に参加するための知識とスキルを身につけること

開催地 韓国(ソウル)

期間 5日間(2023年は7/24～7/28で開催)

参加者 2023年度は全体で42名
→ 3割は韓国から、他はアジア全域から1～4名参加(日本からは1名)


参加に当たって


- 書類選考あり
 - 「参加目的について」「インターネットガバナンスに関連する経験について」等、所定の項目に対しそれぞれ300語以内の英語で記述
- 書類選考通過者は別途事前課題あり
 - e-learningの受講(必須)
 - ICANN Learn(ICANNについて、UAについて等)
 - APNIC Academy(インターネット資源管理について等)
 - インターネットガバナンス関連資料の通読／視聴(任意)
 - ISOCが公開している記事の読み込みや、過去の会合の録画の視聴が推奨

(※2023年度の場合)

プログラム全体のイメージ

	Day 1	Day 2	Day 3	Day 4	Day 5
9:00	開会式				
					閉会式
12:00	昼食				ネットワーキングイベント
15:00					
18:00	夕食				

 講義、課題説明等

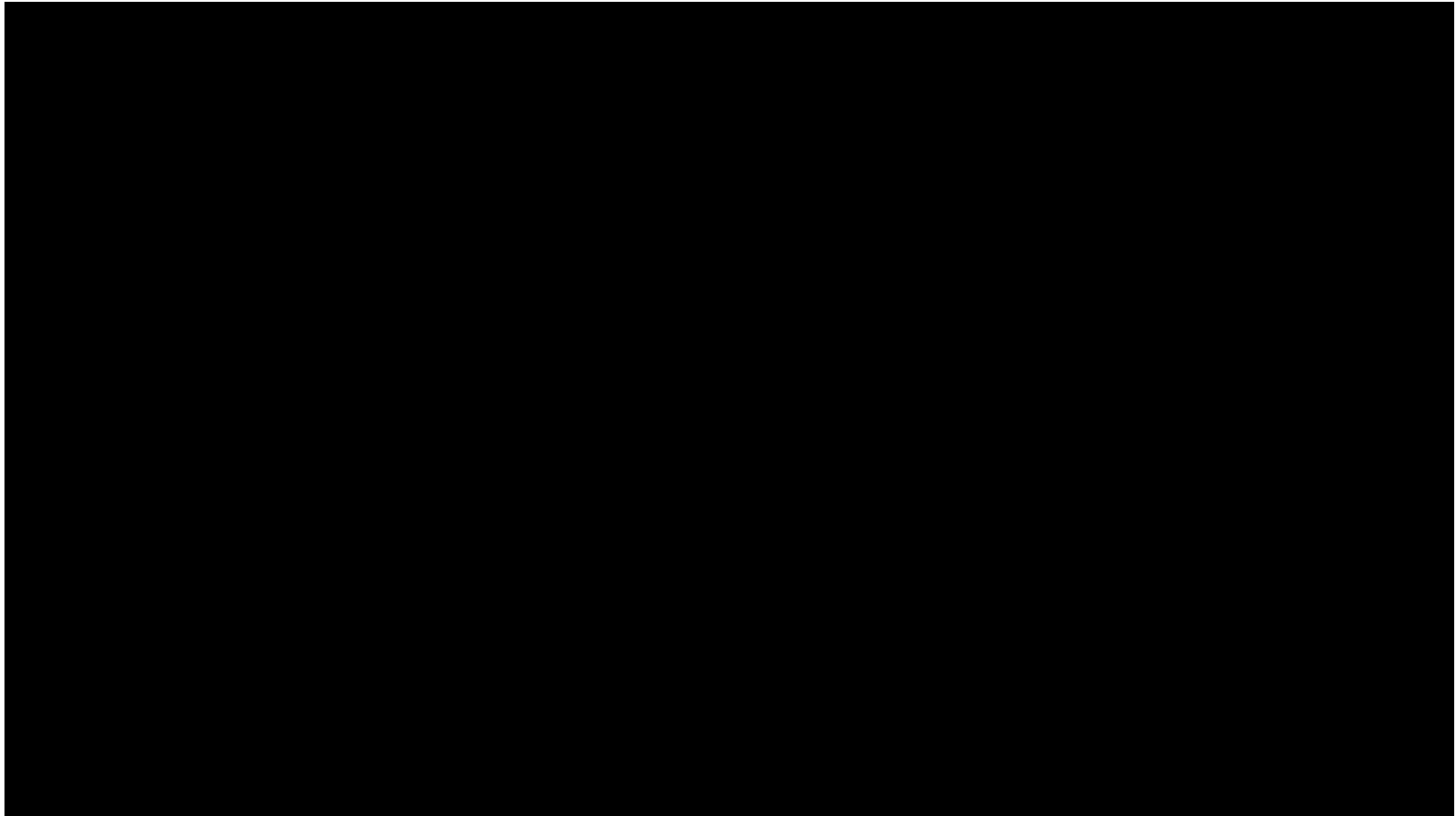
 グループワーク、プレゼンテーション、その他演習等

特に印象に残ったプログラム

- ICANN模擬会議 (Day1～Day4)
 - 参加者(全体で42名)は、GAC／ALAC／GNSOの3チームに分かれる
 - 各チーム内でさらにポジションの割り振りあり
 - 提示されたテーマについて各チーム内で議論し、チームの意見としてのコンセンサスを取る
 - テーマ: Applicant support programの応募条件と支援内容
 - 各チームの意見をラウンドテーブルで発表
 - グループ内相談＋別チームとのディスカッション
 - 各チームによる最終的なステートメントの発表

実際の様子

※フルバージョン(約4分)は [APIGA 2023 Webページ](#)より視聴可能



全体を通しての感想

- 参加者の意欲が非常に高いことに驚き
 - 質疑応答／意見交換に沈黙の時間がない
 - 皆が自分の知識や自国の状況をシェアすることに前向き
- 講義だけではなく演習的なプログラムやグループワークが多く、企画側の工夫を感じた
 - サイバーインシデント演習
 - APriGFへのセッション提案
- 日本のイベントの雰囲気との違いに戸惑うことも
 - 会場内後方常設の充実したおやつコーナー
 - 時間通りに進まず変更され続けるスケジュール

さいごに

私はAPIGAを通じて、

- インターネットガバナンスに関する知識が深まりました
- 色々な国の友達ができました
- コミュニティとの繋がりもできました
 - IGF2023(10月に京都で開催)の際は、ICANNより「ICANNのブースの運営をサポートしてほしい」とお声がかかり、スタッフとして参加

→ 経験の浅い若手でも(あるいはだからこそ)、多くが得られる場なので、ぜひ日本からの参加者が増えてほしいと思っています！